

第10回 九州・沖縄ブロック野営大会
(10K C)

基本実施計画

作成 第10回九州・沖縄野営大会 実行委員会

2024.02.24 令和5年度ブロック会議承認

1. 開催の趣旨

世界 169 の国と地域で 4,000 万人のボーイスカウトは、共通の目的と基本原理及び教育方針に基づき、「スカウトは兄弟」をモットーに友情を培い、民族・宗教を超えて国際親善と協力精神を発揮し、世界の平和に大きく寄与している。

ボーイスカウト活動は、野外を教育の場として展開されるよう組み立てられており、野外活動なかでは、規律・創意工夫・自主性・協同精神などを学び、大自然の中でその美しさと偉大さに絶対的なものを感じながら、自然の尊さを学ぶとともに、それらの取り組みの中において自分自身を学び知ることが期待されている。

日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会では、熊本県野外劇場アスペクタにおいて、九州・沖縄各県のボーイスカウト約 600 名が野営活動を通じてスカウト同士の友情をあたため深めるとともに、日頃の訓練の成果を十分に発揮して、人として最も大切な徳を磨き、自他ともに「命の大切さ」を体得することを期待して本野営大会を開催する。

2. 大会テーマおよびマーク

“翔け、われらのパトローリング”
阿蘇の地で、パトローリングを磨こう！

班制（パトロール システム）はスカウト運動の成功の鍵である。スカウトが減少した現在でも、パトロールは適切に維持され活動（パトローリング）が活性化されたものでなければならぬ。本大会が当該部門指導者および関係者にとって、パトロールの確立を図る取り組みの良い機会となることを期待する。

大会マーク：公募を行い、令和 6 年 3 月までに決定する。

3. 実施概要

- ・大会名 第 10 回 九州・沖縄ブロック野営大会
- ・開催期間 令和 6 年(2024 年) 8 月 2 日(金)～8 月 7 日(水)
※施設設置予定：令和 6 年(2024 年) 8 月 1 日(木)～8 月 8 日(木)
- ・会場 熊本県野外劇場アスペクタ (熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石 4411-9)
- ・主催 日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会
- ・参加人員(見込数)
スカウト 約 600 名(他ブロックおよび海外スカウト含む)
※各県連の派遣計画(令和 6 年 1 月現在)
福岡県 6 隊、長崎県 1 隊、佐賀県 1 隊、大分県 2 隊、熊本県 2 隊、
宮崎県 1 隊、鹿児島県 1 隊、沖縄県 1 隊 計 15 隊
運営スタッフ 約 100 名

4. 参加者

本大会は、加盟員のボーイスカウト、ベンチャースカウトを参加の主体とし、参加隊指導者およびローバースカウトにより構成する。参加隊として、他ブロック、外国連盟、ガールスカウ

ト等の関係団体の参加も歓迎する。

また、大会運営スタッフは、加盟員のローバースカウト、成人指導者で構成されるが、他ブロック、外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体、一般成人等の奉仕を歓迎する。

5. 参加資格

参加するスカウトおよび指導者は、令和6年度の加盟登録を有し、5泊6日のキャンプ生活に十分に耐えうる心身の健康とキャンプ技能を有すること。

また、スカウトの参加にあたっては、保護者の同意が得られていること。

(1) ボーイスカウト

ボーイスカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者。

(2) ベンチャースカウト（参加隊所属）

ベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者。

(3) ベンチャースカウト（活動チーム参加）

野営章を取得したベンチャースカウトで、上記の参加資格を有すると原隊隊長が認めた者。

(4) ローバースカウト（奉仕者、指導者として参加）

上記の資格を有すると原隊隊長が認めた者。

(5) 参加隊の指導者

隊長：25才以上で、WB研修所BS課程（課程別BS研修）修了者。

副隊長：20才以上で、WB研修所修了者が望ましい。

副隊長補：18才以上で、ボーイスカウト講習会以上の修了者が望ましい。

上級班長：指導力を有する1級以上のスカウトまたはベンチャースカウトであり、班長、次長として経験を有する者。

隊付：18才以下で、指導力を有する1級以上のスカウトまたはベンチャースカウト。

(6) 一般奉仕者、特別参加者

運営本部長より大会運営のため特に協力を依頼（要請）した者。

九州・沖縄ブロック以外の者で、担当県連盟が正式許可を与えた者。

6. 参加費

(1) 参加費は、25,000円とする。

- ・予納金10,000円、確定申込金15,000円とし、予納金は返金しない。
- ・参加費（確定申込金）は、施行状況により変動する場合がある。
- ・参加費の取りまとめは各県連事務局にて行う。

(2) 参加費は次の費用に充てる。

- ・大会期間中の食料（但し、主食の米は各自持参）
- ・場内プログラム費、参加章、配布書類等の費用
- ・大会運営費

※会場までの輸送交通費、大会プログラム以外の班プログラム費用、各県連派遣団費等は含まない。

7. 参加申込日程

- (1) 仮申込 令和6年3月初旬頃から、令和6年4月中旬まで実施
- (2) 確定申込 令和6年5月初旬頃から、令和6年6月中旬まで実施
- (3) 申込要領 別途定める申込書を各県連事務局に提出する。

※申込書の構成：個人申込書（健康調査書含む）

隊申込書（隊指導者名簿、班またはチーム名簿）

8. 参加隊および班の構成

本大会ではパトローリングの維持活性化を目指しているため、原隊の班を維持した形での参加とする。班員が少ない場合は、近隣の隊と合同で班を構成すること。

(1) 参加隊

- ・ 隊は大会会場への移動、キャンプ生活を支援するための管理上の組織とする。
- ・ 参加隊に所属する班は、1個班以上とする。上限は4個班が基本であるが、構成上やむを得ない場合は4個班以上も可とする。但し、管理・指導体制を適切にすること。
- ・ 隊指導者は、隊長1名、副長および副長補の人数は班数以上とし、女性スカウトがいる場合は女性指導者を適宜確保すること。

(2) 班の構成

- ・ ボーイスカウト6人以上とし、8人程度を上限とする。
- ・ 県連派遣隊や合同隊を編成する場合は、少なくとも仮申込の段階から班員を固定し、準備訓練を数回行うなど班長を中心に自律的に活動できる班として臨むこと。

(3) ベンチャースカウトの参加

- ・ 2人以上の活動チーム、参加隊所属の班員、または参加隊指導者として、スキルに応じた形態で参加することができる。
- ・ ベンチャースカウトは、参加隊指導者の指導のもと参加隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム活動やキャンプ生活を支援する。または、奉仕隊に所属して自己のプログラム活動を展開する一方、大会運営への奉仕活動に取り組む。

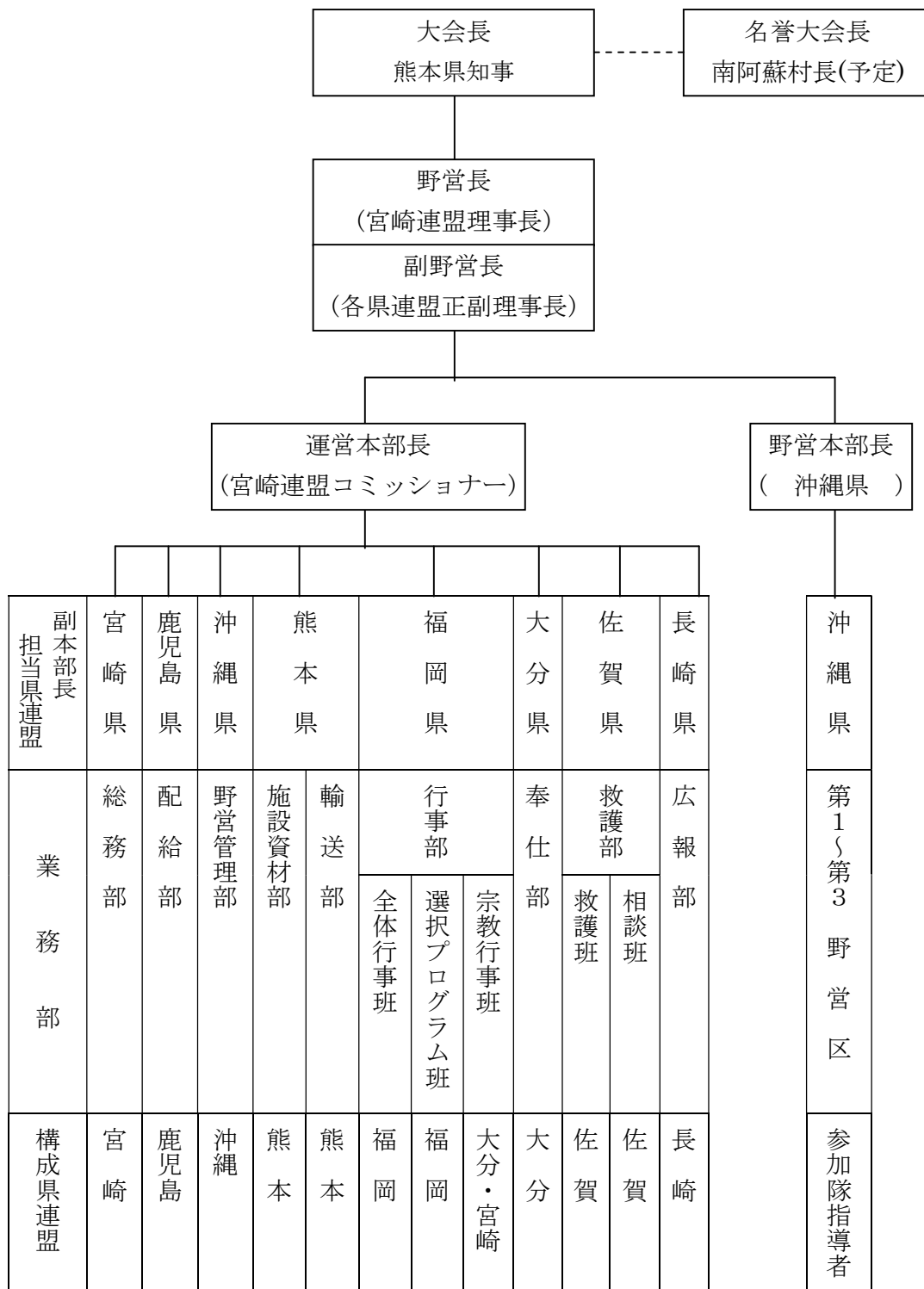
9. 大会日程

(1) 参加隊は、令和6年8月2日（金）入場し、8月7日（水）退場を原則とする。

8/1	8/2			8/3			8/4			8/5			8/6			8/7			8/8	
木	金			土			日			月			火			水			木	
仮 設 施 設 工 事	午前	午後	夜	午前	午後	夜	午前	午後	夜	午前	午後	夜	午前	午後	夜	午前	午後	夜	仮 設 撤 去 工 事	
			入場・設営	開会式														大集会・閉会式		撤営

10. 大会組織

(1) 大会組織図



※宗教行事班の担当県連は協議中

(2) 各業務部の役割（抜粋）

業務部名	業務内容（抜粋）
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・大会事務、会計事務、庶務業務、地元業者との初期折衝 ・ブロック外および海外参加者への対応 ・参加申込や一般来訪者および見学者の受付と人員管理、相談業務
配給部	<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成、炊事指導、食糧調達の地元業者との折衝、購入保管 ・本部スタッフへの給食提供
野営管理部	<ul style="list-style-type: none"> ・野営区割り ・場内警備、緊急避難誘導、生活指導、水汲み場・トイレ等管理指導 ・セーフ・フロム・ハーム連携
施設資材部	<ul style="list-style-type: none"> ・電気設備、給水設備等諸施設の設計と施工業者折衝、および敷設 ・敷設後の管理 ・各業務部の共通資材（テント、イス等）の調達設置
輸送部	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内外の交通整理と安全確保 ・駐車場利用の指導
行事部	<ul style="list-style-type: none"> ・開閉会式および大集会、諸催事の立案準備運営 ・場内外におけるプログラムの立案準備運営 ・宗教儀礼の立案準備運営
奉仕部	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕参加スカウトによる奉仕隊編成と管理 ・各業務部からの要請取りまとめと奉仕参加スカウトの派遣
救護部	<ul style="list-style-type: none"> ・救護所の設置、医師看護師の手配、一次救護活動の実施 ・カウンセリングの実施、セーフ・フロム・ハーム連携
広報部	<ul style="list-style-type: none"> ・報道関係者の対応と連絡 ・大会ニュース、記録、アルバムの作成および配布
野営区	<ul style="list-style-type: none"> ・野営本部長が統括し、参加隊指導者が構成員となる ・班の活動や生活を管理する。 ・各業務部と連携、特に配給は野営区を通して行う。

10. 会場レイアウト

(1) 会場レイアウト（別紙参照）

- ・派遣隊エリア アスペクタの駐車場（第一/第二/C駐車場）を第1～第3野営区とする。
- ・奉仕指導者エリア
奉仕指導者用の食堂（アスペクタ東広場）周辺、及びアスペクタステージ下の中2階、D駐車場周辺を奉仕指導者エリアとする。
- ・奉仕スカウトエリア
アスペクタのキャンプ場を当該エリアとする。
- ・本部エリア
大会本部、各業務部、および隊長会議、奉仕スカウト会議、救護室等は、アスペクタ音楽練習室1～3に設置する。

(2) 大会開催に必要な施設は下記ごとく用意する。

- ・ 給水施設 アスペクタの上水道を延長し給水場を2か所に仮設する。
- ・ シャワー 水タンクを設置し男女個室水シャワー計20基、奉仕指導者用を5基程設置する。但し、全員が利用できる数ではないため、周辺温泉施設を利用可能にする。
- ・ トイレ 会場既設トイレの利用を基本するが、夜間対応・緊急利用可能な仮設トイレを男女計30基程度設置する。
- ・ 汚水枡 隊サイトで一次ろ過を行い、指定の汚水施設へ搬送して処理する。
- ・ 本部/業務部 アスペクタ施設内に設け、必要により適宜準備する。
- ・ その他 会場ゲート、看板 メインゲート等の出入り管理棟などの施設を設置する。

11. プログラム

本大会での活動は、班プログラムに従い自発的に展開することを基本とする。班プログラムは活動前に参加隊長の承認を得たのち、行事部が確認し調整する。

(1) プログラム日程

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
8/2 (金)	8/3 (土)	8/4 (日)	8/5 (月)	8/6 (火)	8/7 (水)
入場 設営 開会式	班長訓練の日 班プログラム	班プログラム 宗教儀礼 CS・BVSデー	班プログラム 大会プログラム参加	班プログラム 大会プログラム参加 大集会・閉会式	全体朝礼 撤営

(2) プログラム内容

- ・ テーマ：地球の記憶を探る Explore the Earth
- ・ 4つのテーマを設定し、テーマに沿ったプログラムを展開する
 - 大地 (Earth)：熊本地震 記憶の廻廊、阿蘇山トレッキング、ボルダリング
 - 水 (Water)：湧水巡りハイキング、
 - 風 (Wind)：パラグライダー、気球
 - 生活 (Life)：阿蘇神社、フォトロゲイニング、乗馬
- ・ 場外+場内プログラムをクリアする事で記念品を渡す
- ・ 場内プログラム (BVS, CS 向け)
 - 牛乳パックリサイクル (湧水を使った紙漉き体験)
 - 野点 (湧水を使ったおいしいお茶とお菓子)
 - ペットボトルリサイクル (空気砲での的当て)・・・
- ・ SDGs を取り入れたプログラムを実施する。

(3) 大会 AWARD

大会プログラムの軸に自然・歴史・スカウトスキル・パトローリングなどの課題を設け達成したら大会 AWARD を取得できる。

(4) その他

- ・ プログラム内容は調整の結果変更する場合があります

- ・プログラム内容により別途プログラム参加費が必要になる場合があります

12. 野営管理

生活サイトは、参加隊ごとに割り振る。生活サイトは40人を基本として、参加隊は「8(1)参加隊」、「8(2)班の構成」により構成する。

班の構成が4個班を超える場合には、「8(1)参加隊」で記述しているとおり参加隊に班数以上の副長、副長補を配置すること。

(1) 生活サイト（隊サイト）

個人テント、食堂フライ（班集会兼用）、カマドスペースを確保できるサイト面積とする。サイト面積は標準隊構成で概ね25m×25m程度とする。

(2) 生活サイトの割り振り

生活サイトは、大会本部がランダムに割り振る。

(3) 奉仕指導者・奉仕スカウトエリア

奉仕指導者および奉仕スカウトは本部スタッフとして配給部より給食を提供する。宿泊テント、カトラリ等は各自用意するものとする。シャワーはアスペクタ東側に5基程度を用意し、適宜周辺温泉を利用するものとする。

(4) 海外参加隊、および隊スカウトの進級状況等にやむを得ない理由がある場合に、当該県コミッショナー承認の下で野営区内に隊サイト（隊指導者の居住含む）を割り当てる場合がある。

13. キャンプ生活

(1) 派遣隊スカウトは隊炊事を行う。

(2) 直火は禁止とし、カセットガスコンロ、キャンピングストーブ等の使用を基本とする。

※営火については協議中

(3) カセットガスボンベ等は大会側では準備せず、隊または班資材として準備すること。

(4) 隊マネジメント

派遣隊指導者は派遣隊の活動を指導しながら、大会本部のニーズに応じてプログラム運営側として参画する。つまり、班の自律的な活動をプログラム運営側から支援する。

14. 安全対策

(1) 安全管理・緊急時の対応

緊急時の対応、安全対策については、別に示す「安全管理ハンドブック」に記載するため、熟読しておくこと。

(2) 事故の防止

参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみから大事故につながる恐れがあることを忘れず、安全の三原則を厳守しなければならない。

〈安全の三原則〉

- ・自分の安全は自分で守る
- ・ルールを守る
- ・安全を最優先にする

(3) 応急救護

- ・他人への服薬、薬剤の投与等ができないことから、参加者への応急手当は、派遣隊又は運営各部での応急手当を基本とする。
- ・救護所をアスペクタ音楽練習室に設ける。
- ・救護所を受診するときは、必ず指導者が付き添い「健康調査書」及び「健康保険証（コピー）」を携行すること。
- ・救護所は、可能な限りの初期対応を行う。
- ・救護所は、傷病の程度により外部の医療機関との連携をはかり、搬送、受診ができるように手配を行う。

(4) 熱中症対策

- ・クーリングシェルター(暑熱避難施設)を会場内に1箇所設置する。
- ・クーリングシェルター運用、稼動は救護班がおこなう。
- ・クーリングシェルターの稼動時は自由に使用できるものとする。
- ・熱中症警戒アラートを発信し、暑さへの「気づき」及び「対策」を呼びかける。

(5) セーフ・フロム・ハーム

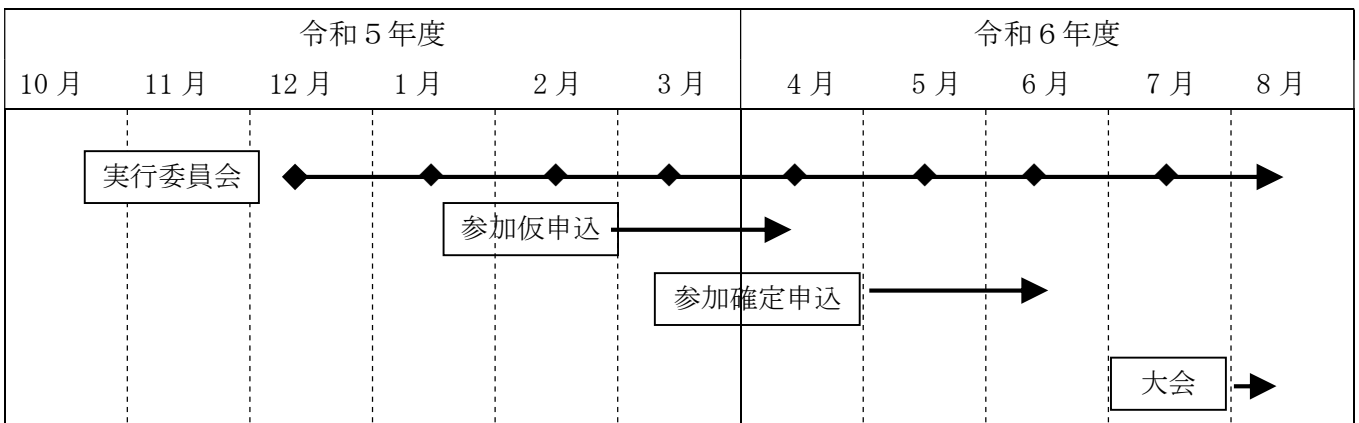
大会に参加するすべての指導者は、日本連盟のセーフ・フロム・ハームのガイドラインを遵守して、スカウト運動の信頼を強め、自らの身を守り安全で安心できる活動を展開する。
参加者が期間中の悩みなどを相談できる相談窓口や、リラックスできるスペースを設ける。

15. 輸送計画

- (1) 各県連盟から大会会場への派遣隊の輸送については、各県連盟が負担する。
- (2) 期間中(8/3~8/6)の場外輸送、温泉施設輸送については、大会側が用意する。
・詳細は今後協議する。

16. 大会準備日程および実施要領について

(1) 大会迄の準備は概ね下記の如く進める。



(2) 本基本計画に従い実施要領を作成する。

- ・参加隊指導者向け基本実施要項は、令和6年2月までに確定し公開する。
- ・各業務部の実施要領および関連項目は、令和6年4月上旬までに確定する。

以上

第10回 九州・沖縄ブロック野営大会 (10Kyusyu Camp)

